

心をつなぐ【ハートFULL新居浜】

“差別をなくする市民の集い”として今年も2月11日（土）ハートFULL新居浜が開催された。恒例となったこの催しは、あわただしく過ぎゆく日々の生活の中で、新居浜市民にとって、「ふと立ち止まり、自分自身を鏡に映し、自らの心に問いかける機会」となっている。

今年は、第1部 笑顔甲子園と東日本大震災～被災地の子どもたちからのメッセージ～、 第二部 人権啓発劇『おばあちゃん、いなんといて』～愛を感じていますか～の内容であった。会場はほぼ満席に近い盛況で新居浜市民への定着の確かさをうかがうことができた。参加された方から感想を寄せて頂いたので、ご紹介いたします。

《観客席より》

今年のハートフルも、学生の活躍がとても印象的でした。笑顔甲子園では、楽しい演出で笑顔をもらい、最後には「身元調査お断り」と人権問題にもふれ、今後の若者の活躍に期待感を抱きました。

東日本からのメッセージも心に残りました。小学生の描いた紙芝居は、その時の状況や思い、感謝の気持ち、復興へ向けての思いなど、深く心に届きました。

人権劇は、身近にある家族の問題を題材にして自然に入り込めました。お婆ちゃんの言葉で、嫌な自分を乗り越えて勇気を出した美咲、昔の自分を思い出したお父さん、とても感動しました。二人の間にはさまれ、苦悩したであろうお母さんの気持ちもよくわかりました。家族の問題は家族でよく話し合うことによって解決していきける。みんなで支えあうことの大切さを再認識しました。（T）



《ステージに立って》

今回、5年ぶりに出演者としてハートFULL新居浜に参加しました。そんなハートFULL新居浜は懐かしくもあり、新鮮さもありで、結局物凄く楽しんだというのが一番の感想です。もちろん、今回の西岡家のバラバラだった家族が祖母をとおして一つにまとまっていくという話を通して、DVを考えるといったような内容でした。自分自身、妻と子2人の家庭を持つ身として、改めて考えさせられました。僕自身の配役としてはおじさん役ということで本筋とはあまり関係有りませんが、もう少し色んな演技が出来たのではないかと後悔しております。来年度も機会があれば、関わっていきたいと思います。（Y）

人権～まず、気付くことから～

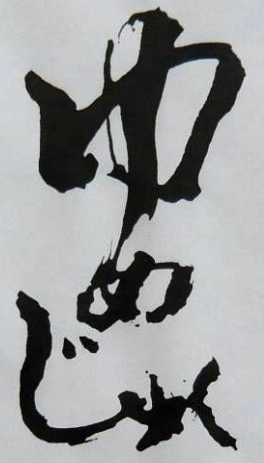
レインボー体操教室のみなさんと

毎週木曜日の午後、大きなゴム製の風船を用いた体操教室が当館の二階で行われている。参加者は今のところ青春パートⅡ？と思われる女性のみ。2月2日は体操のあと疲れも見せず、当館の指導員と共に人権問題の研修に臨んだ。内容は、いま高齢者福祉施設で直面する困難、ある大都市の首長が重度の心身障がいをもつ人の施設を視察したあとの記者会見で「ああいう人ってのは人格あるのかね・・・」と発言した内容、京都の被差別部落の青年に嫁いだ伊藤博文の孫娘が貫いた生活信条、2008年2月オーストラリア連邦議会で『先住民族に対する謝罪決議』が採択された事情などについて考えてみた。



瀬戸児童館の年長組のお母さんと

2月9日（木）は瀬戸児童館の年長組のお母さんとお勉強する機会を得た。これまで何度か人権・同和教育の懇談会などで、「人間はだれでも偏見もつとんと違う？」とか「人間は生まれつき、本能的に差別する心があるのと違う？」と言われたことがあった。それを今回は、このような見方、考え方をひっくり返すための資料、社会心理学や森で発見された野性児の例にふれながら、子育てにおける家庭の役割を見直そうとする研修の場となった。



瀬戸会館だより
平成24年3月号
新居浜市瀬戸会館
〒792-0821
新居浜市瀬戸町7-30
E-mail
seto@city.niihama.
ehime.jp
TEL 0897
41-5859
(FAX 兼用)

3月公演

回転木馬

おはなし会

3月7日予定

10:40~11:00

瀬戸児童館



人権あらかると

部落問題と向き合う若者たち

(内田) 今、働いているところはどのようなところなのか。簡単に紹介を。

(武田) 北芝という、箕面市の中にある同和地区です。すごく素敵な地域で、部落っていう被差別の場所からスタートして、外とつながりながらいっぱい活動がある地域です。

差別を受けてきた結果、特に年配のおじいちゃん、おばあちゃんなんかは、ムラの外に出ることにすごく抵抗感をもっていたりするんです。差別の結果、人と人のつながりが断たれてしまうということで、それってすごく悲しいことだと思います。北芝のまちづくりの取り組みというのは、例えばカフェやイベントができる広場など、そういう出会いの場をたくさんつくっていて、同和地区の内外の人たちがそこで出会って、一緒に面白がって、まちをつくっていけるような、そういうプロセスの中でだんだんマイナスイメージを払拭(ふっしょく)していけるような、そういう取り組みになっています。地元の人だけじゃなくて、北芝が好きで入ってくる人がたくさんいるようなそんなまちです。

(内田) 知るタイミング、最初の部落問題との出会い方みたいなのところをお話していただけたら。

(武田) 私は、自分が部落の出身だと知ったのはいつか、という記憶がないです。たぶん、もの心ついた時には、私、このムラの子って思っていて、ここが部落で被差別地域だということも、なんか変な子どもやと思いますけど理解をしていた記憶があります。それはたぶん親だったりまわりの大人が、伝えてくれていたのだな、と。全然言われた記憶がないのですけれど。

(内田) お父さんやお母さんはどんなことを言われてました？ 小さいときに。

(武田) 差別を受けるほうが悪いんじゃないよとも言われましたし。いろんな場にいるんなメッセージを受けてきたんですけど、自分が、特に母から受けたメッセージは大きく三つだと思うんですが、「アンタは部落の子で差別受ける可能性あるんで」ということと、「でも、差別を受けるのは別にあなたが悪いから受けるわけじゃなくて自分のこと卑下しないでいいよ」ということ、「もし何かあったら絶対支えるから私に言いなさい」ということを言われてて。だから私の中では部落出身やという自覚はあったのですが、実は不安はほとんどなくて、もしそんなことが起きても私はきっと大丈夫だと思ってました。

『部落解放』2012年増刊号より

内田 龍史 尚綱学院大学講師

武田 緑 NPO法人 暮らしづくりネットワーク北芝職員

武田 緑さんは、昨年8月2日広島市の平和祈念式典参加に向けた「大阪—広島ピースサイクリング」の途次、瀬戸会館に一泊された人たちのリーダーの一人です。

「ゆめじゅく会」役員の皆様へ！！

瀬戸会館活動連絡協議会（「ゆめじゅく会」）**役員会**を次のとおり行います。日時：**平成24年3月6日（火）13:30～**
場所：瀬戸会館内会議室 **役員の皆様のご出席をお願いいたします**

会員の皆様へ 総会は3月23日（金）19:00～（予定）です

資源ごみ回収のお願い

「ゆめじゅく会」では、新居浜市の支援を受けて資源ごみの回収を行っています。収益は「ゆめじゅく会」の活動の充実に活用させていただきます。ぜひ、ご来館の折などに少しずつでもお持ちください。回収品目は新聞紙、段ボール、雑誌類、古布類、アルミ缶です。どうかよろしく願いいたします。



人権・同和教育の 授業と講演会

1月29日（日）は泉川小学校で標記の会が行われた。同校では、2校時の参観授業で人権・同和教育が実施され、6年生のある学級では『ちがひ発見、みんな発見』という学習。7つの事例が示され、それぞれが「あってもいい違い」「あってはいけない違い」「どちらとも言えない」のどれに該当するかを班で話し合うことに。「日本では食事に箸を使うが、インドでは指を使う」「両親は妹に食事の後片付けをさせるが、兄には言わない」などの課題を次々とこなしていく。先生は班を回りながら、「どちらに決めたか、その理由を書いてください。理由が大事なんですよ。」と念を押す。

この後、各班から発表があり、生まれ、文化、民族などの違いを理由に、異なる扱い・対応をすることはいけないことを学び、先生の「あってもいけない違いをしっかりと見抜いて、差別をしないことが大事です。」との言葉で授業は終わった。

講演会は、西条市立田滝小学校校長 谷口晃さんが『今 輝くために』と題して話された。ギターを弾きながら想いを歌にのせて語りかけるお話は、保護者とともに前方の席で聴く5年生、6年生の児童にもよくわかった。

童謡『シャボン玉』から、「いのち」の大切さ、はかなさをシャボン玉に託して話したり、「ふつう」という言葉の持つ差別性を説いた。「目で見るとはいますが、手で見る人もいます。」との表現にもハッとさせられる。『『そっとしていたら差別はなくなる』と思っている大人の人がいますが、そっとしては、差別はなくなりません。いじめや差別に立ち向かっていける人になってほしい』とも語りかけた。

校区別人権・同和教育懇談会（反省会）開く

2月9日（木）、小・中・高校の教職員、小・中学校PTA、市連合自治会代表、公民館館長、県人権教育協議会新居浜支部役員、市職員らが参加して、平成23年度校区別人権・同和教育懇談会運営委員会（反省会）が新居浜市消防庁舎で開かれた。この懇談会事業は中学校区別に運営委員会を設け、人権・同和教育に関する基礎研修、学級・学年別研修、地区別懇談会の三本柱で保護者や校区住民を対象に実施されている。

佐々木龍新居浜市長による開会のあいさつのもと議事に入り、最初に市の担当者から全般的な反省のまとめが報告された。続いて各校区ごとに、人権意識の高まりや取組の工夫、参加者拡大への努力など、今年度の成果と問題点がそれぞれ述べられた。

3月の主な行事予定

3月14・28日(水) — 移動図書館(14:00～14:40)

3月11日(日) — **人権のつどい日(19:30～21:00)**

「共に輝いて生きるために」

出会いが人を変え、感動が人を動かす

講師 のらねご学かん 館長 塩見 志満子さん

場所 新居浜市瀬戸会館